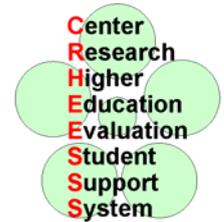


週刊センターニュース

No.127



第127号(2006年9月25日) 毎週月曜日発行
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

センターからのお知らせ

定例の共同学習会(木曜日5時限目)は、今週はお休みとさせていただきます。

角間キャンパスの緑化計画について

9月9日、角間キャンパス屋外緑化計画検討会の第1回会合が開催された。会合では、事務局より、現在までに策定されている角間キャンパスの緑化計画、および課題となっている法面の範囲及び状況等について説明があり、とくに、維持管理経費上の制約を前提にした議論をということであった。今回はあまり意見交換の時間がとれなかったが、引き続いて、特別アドバイザー役の宮脇昭氏(財団法人国際生態学センター研究所長)による講演会「金沢大学の緑環境の再生 金沢大学から世界へ」が行われ、実践経験にもとづく「土地に根付く植樹」についてのその講演内容は、示唆に富むものであった。

ちなみに、宮脇氏については、「『潜在自然植生』の概念に基づく森林回復・再生の理論を提唱・実践し、防災・環境保全林、熱帯雨林の再生に成功して、地球の緑を回復する手法の確立に貢献した」功績により、今年のブループラネット賞(第15回)受賞が決定したことも紹介された。この賞は、財団法人旭硝子財団が地球環境問題の解決に関して科学技術の面で著しい貢献をされた個人、または組織に対して毎年2件贈られる地球環境国際賞で、日本人の受賞は宮脇氏が初めてとのことである。

講演後、雨の中、長靴姿の学長を先頭に実際に植樹が行われ(その模様は、本学HP http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/new/2006/green01.htm に掲載)、私もアラカシの苗木を、総合メディア基盤センター脇の法面に植えさせてもらった。

標記検討会は来年3月までの時限委員会であるが、緑化を教育のなかに位置づけ、学生の力を活用したキャンパス作りとしての観点から発言をしていくつもりである。学生の学習環境は同時に教職員にとっての研究・労働環境である。皆様方からも積極的なご意見をいただきたい。

(文責：教育支援システム研究部門 青野 透)

群馬大学教育学部の障害学生支援室訪問記

当センター教員となってから、他大学を訪れるときは、時間を少しでもとって、いわゆる学務係の窓口を覗くことにしている。掲示板を眺め、どんな情報が学生に伝えられているのかを確認し、さらにカウンター越しでの学生と職員さんとの対応をそれとなく観察させてもらっている。

9月18日、日本特殊教育学会第44回大会参加のために訪れた、群馬大学荒牧キャンパスの教育学部棟で、「障害学生支援室」という部屋を見つけたため、午前のシンポジウム終了後、早速訪ねてみ

た。昼食時間帯のアポなしの訪問にもかかわらず、2名の職員の方は快く対応してくださった。

同学部の金澤貴之教授が、昨年の同学会（金沢大学で開催）で、群馬大学の障害学生支援について報告されていたので概略は知っていたが、1年契約ではあるが支援のための職員さんを2名雇用、学生支援室以外に障害学生支援室という部屋を確保、している事実には驚かされた。支援の充実のためには、コーディネーター役の専任職員は必要不可欠であること、支援メンバーとなる学生たちが気軽に立ち寄り、支援を受けている学生を含めて意見交換が出来る空間が支援活動継続に望ましいこと、この二つは強調しておきたい。多くの大学で、障害学生支援のための組織・連絡体制・マニュアルが作られてきている。この数年での明らかな進歩だと思う。だが、実際に支援にあたるのは人間である。支援者たちを育てることこそが、次の段階である。

本学では障害学生の支援委員会ができてようやく2年である。これから支援充実のための方策を考え、実行に移すためには、群馬大学のような取組をモデルにしていかなければならないと思われる。（文責：教育支援システム研究部門 青野 透）

スチューデントコンサルタント認定試験について

本年9月11日付で、各国公私立大学学生支援担当部・課長殿として、特定非営利活動法人学生文化創造（理事長：庵谷利夫）より「平成18年度スチューデントコンサルタント認定試験の実施について」との文書が届いています。

この法人は、http://www.npo-homepage.go.jp/ninshou/no12_ninshou.html#002247によれば、今年3月16日に認証され、主たる事務所を東京都中央区八重洲2丁目7番2号八重洲三井ビルディングに置き、＜ 勉学に励み、将来の社会・国家のために尽くそうとする学生に対して、生活上の困難を軽減し及び学習上の意欲を助長するため、産学の連携の下に、学生支援相談活動を推進し、もって新しい時代の新しい文化の創造に貢献することを目的とする＞ものです。

スチューデントコンサルタント認定試験は、「大学等において、学生支援相談担当者の資質、能力・適性等について一定レベル以上であることを」この法人が「認定する試験」のことです。

学生支援に携わる人たちが正当に評価される契機になればと思い情報提供する次第です。私自身も受験しようと思います（合格しないと恥ずかしいので本当は広言したくないのですが）。詳細について関心があるという方がおられましたら、本学学生部あるいは、私までご連絡ください。

今年の試験日は、11月18日（土）、会場は東大本郷キャンパス、受験料1万円です。申し込み期間は 本日9月25日～10月17日です。

（文責：教育支援システム研究部門 青野 透）

大学教育学会課題研究集会の角間キャンパスでの開催

本年11月25日（土）・26日（日）に、金沢大学共催による「大学教育学会2006年度課題研究集会」が角間キャンパス文法経済棟で開催されます。学会に所属されていない方もこの機会に是非ご参加ください。詳細は当センターのHPをご覧ください。

センターからのお願い

センターニュースで取り上げてほしいテーマを募集します。また、センターニュースを読んでのご感想や、当センターへのご要望などをメールにてお寄せください。

さらにセンターでは、共同学習会の話題提供、ランチョンセミナー担当も随時募集しておりますのでご連絡ください。info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp までお願いいたします。